

2019年12月期（第106期） 第3四半期決算

日華化学株式会社（証券コード：4463）

創 立 ： 1941（昭和16）年9月15日

本 社 ： 福井県福井市

従業員数 ： 連結／1,501名 単体／601名
（2019年9月30日現在）

事業内容 ： 繊維を主とする各種産業用界面活性剤
および化学品、化粧品等の製造・販売

2019年11月5日

目次

2019年12月期 第3四半期 業績

-決算概要

-部門別業績

2019年12月期 業績予想

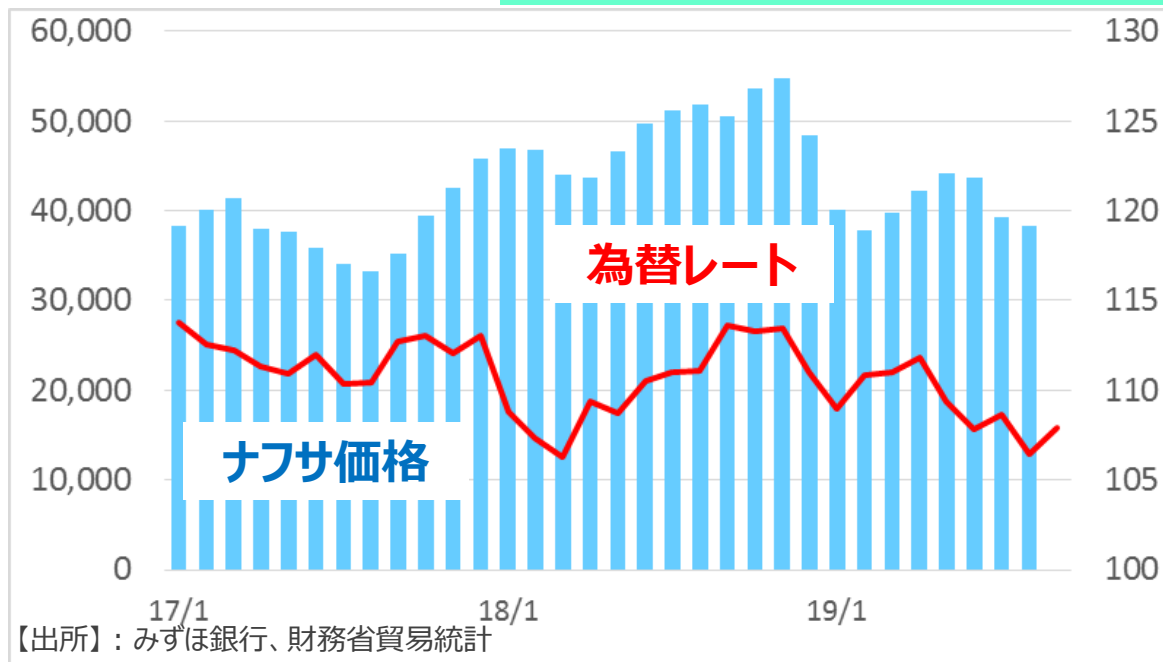
※2019年12月期第3四半期の期間は、
2019年1月1日～9月30日であります。

※スライドに表示しています金額については、
百万円未満を切り捨てて表示しています。

経営環境 ('19/3Q)

為替レート (円/USD)
輸入ナフサ価格 (円/KL)

US\$為替：107円近辺で推移
ナフサ価格：40,000円前後で推移



(国内)

- ✓ 消費税増税前の影響
- ✓ 米中貿易摩擦を起点とした世界経済の減速懸念から製造業を中心に下押し圧力

➡ 先行き不透明感強まる

(海外)

- ✓ 環境・化学品規制、金融資本市場変動、原油価格の変動

➡ 引き続き注視が必要

2019年度 = 中期経営計画「改変期」最終年度
全社経営戦略のもと、強固な経営基盤の構築を図っている

業績 (連結)

(百万円)	18年12月期 第3四半期	19年12月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	37,181	34,650	△2,531	△6.8%
営業利益	1,715	1,078	△636	△37.1%
経常利益	1,826	1,027	△798	△43.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,081	580	△1,500	△72.1%

業績（連結 種類別）

(百万円)		18年12月期 第3四半期	19年12月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	化学品	26,209	25,474	△734	△2.8%
	化粧品	10,320	8,311	△2,009	△19.5%
	その他	651	864	+212	+32.7%
	合計	37,181	34,650	△2,531	△6.8%

(百万円)		18年12月期 第3四半期	19年12月期 第3四半期	増減額	増減率
セグメント 利益	化学品	1,523	1,121	△401	△26.4%
	化粧品	1,648	1,199	△448	△27.2%
	その他	36	99	+62	+172.2%
	消去及び全社	-1,493	-1,341	+151	-
	合計	1,715	1,078	△636	△37.1%

ハイライト

・売上高（6.8%減）

■増加

- 化学品：ベトナム、日華化学、香港
- 化粧品：日華化学、コスメラボ

■減少

- 化学品：広州、米国、台湾、タイ
- 化粧品：山田製薬、韓国
- 為替の影響：アジア通貨安円高

・利益（37.1%減）

■増加

- 化学品：韓国
- 化粧品：日華化学

■減少

- 化学品：日華化学、大智化学産業、タイ
- 化粧品：山田製薬、韓国

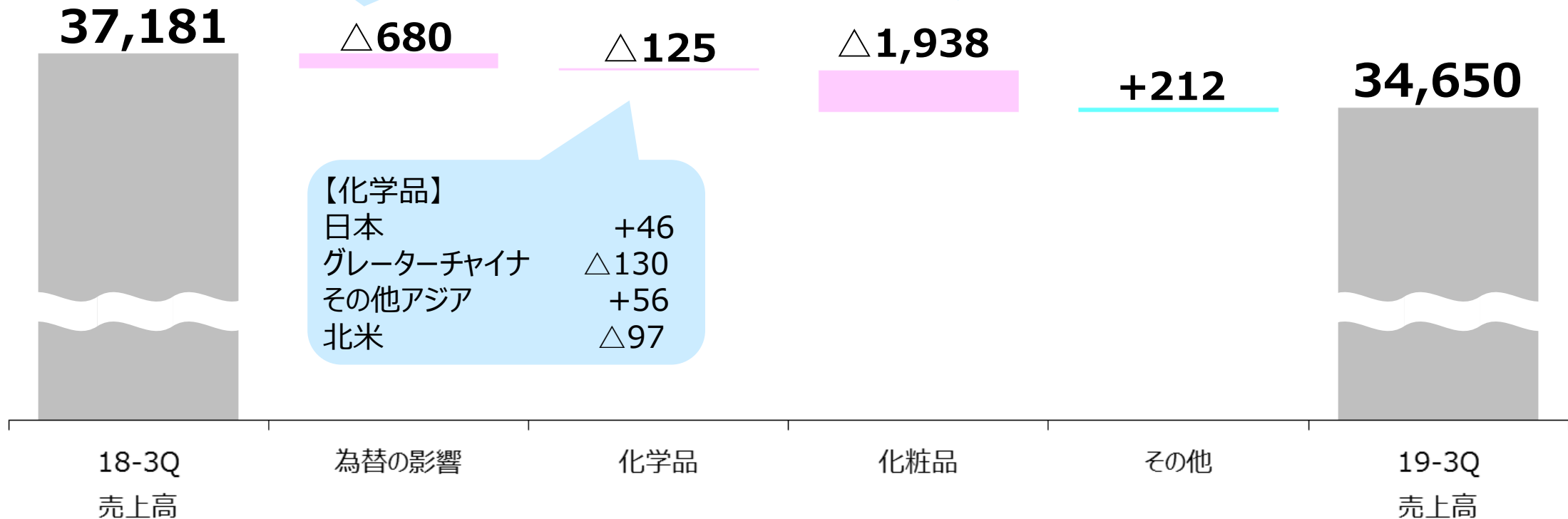
【連結】売上高増減要因（対前年）

【期中平均レート（対前年）】

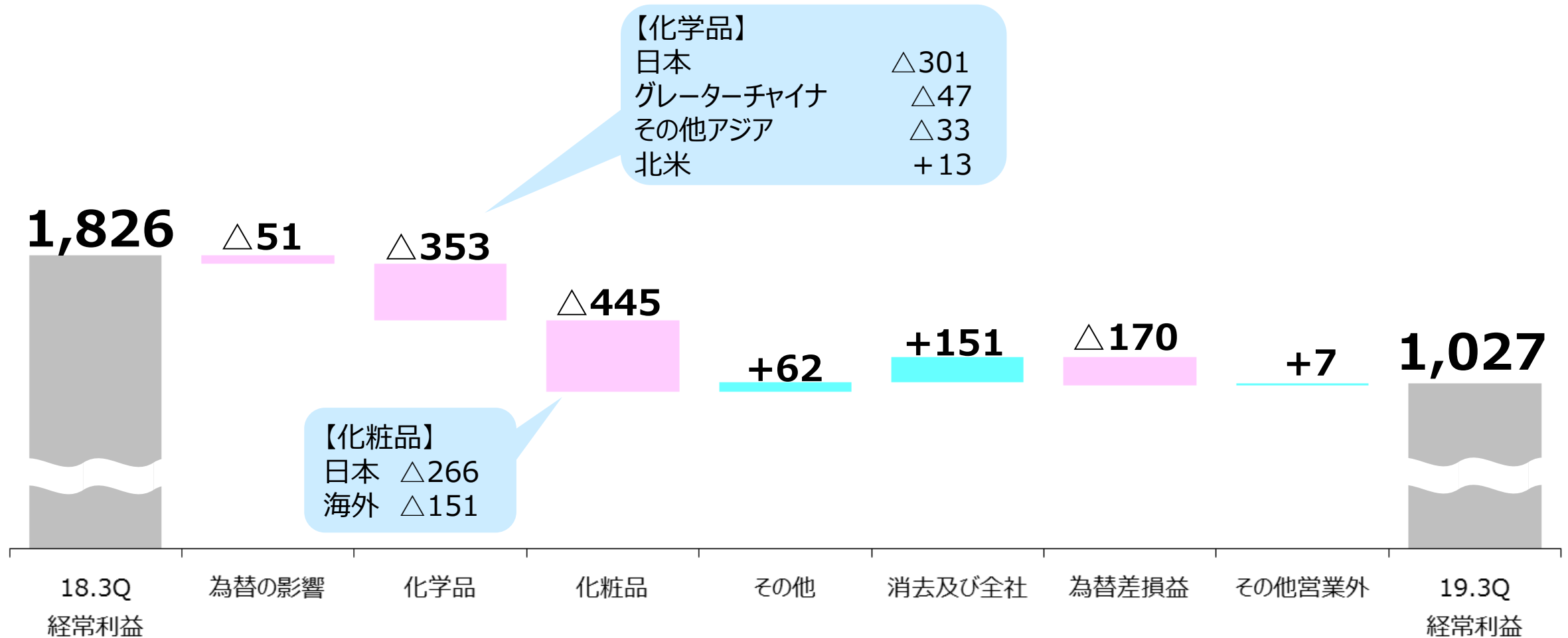
USD 109.96 → 109.38 (0.5%円高)
RMB 16.8116 → 15.9169 (5.3%円高)
TWD 3.6751 → 3.5295 (4.0%円高)
KRW 0.1008 → 0.0943 (6.4%円高)

【化粧品】
日本 △1,922
海外 △16

【化学品】
日本 +46
グレーターチャイナ △130
その他アジア +56
北米 △97

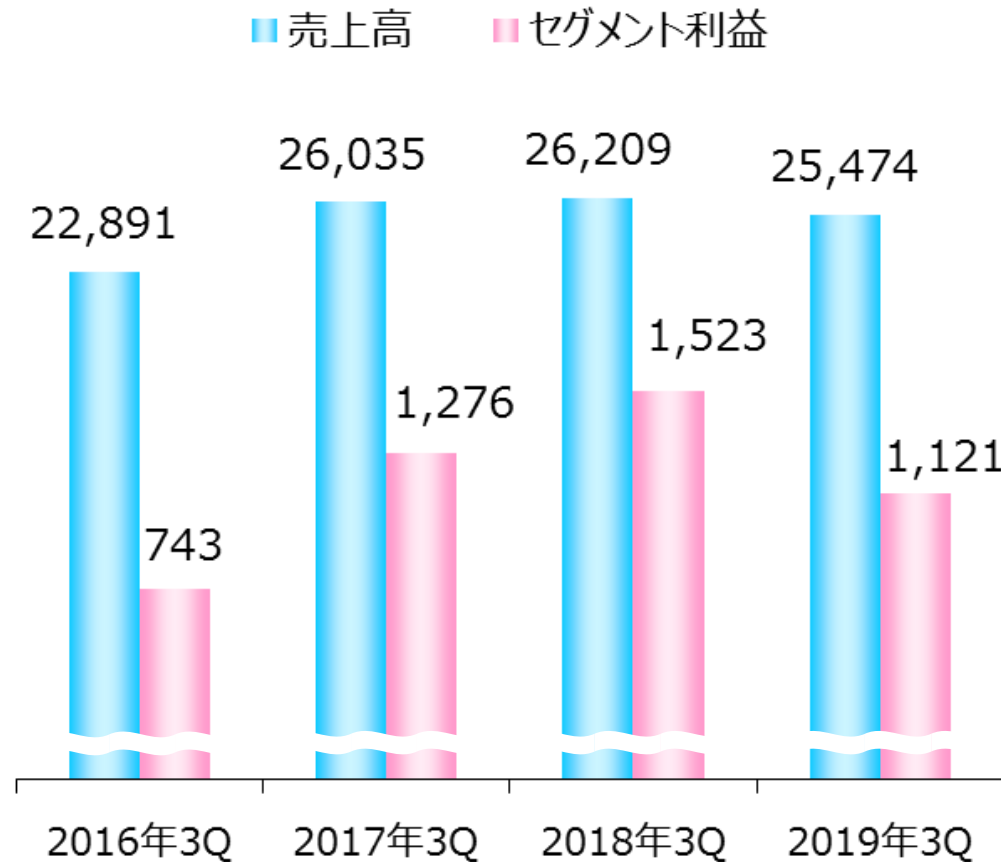


【連結】経常利益増減要因（対前年）



化学品セグメント

○連結業績（百万円）



○連結売上高

	18年3Q	19年3Q	増減額	増減率
日本	10,698	10,744	+46	+0.4%
グレートチャイナ	7,879	7,375	△503	△6.4%
その他アジア	6,496	6,322	△174	△2.7%
北米	1,134	1,031	△103	△9.1%
計	26,209	25,474	△734	△2.8%

※為替影響 △609百万円 対USDレート差 ¥0.58の円高
(2018: ¥109.96 2019: ¥109.38)

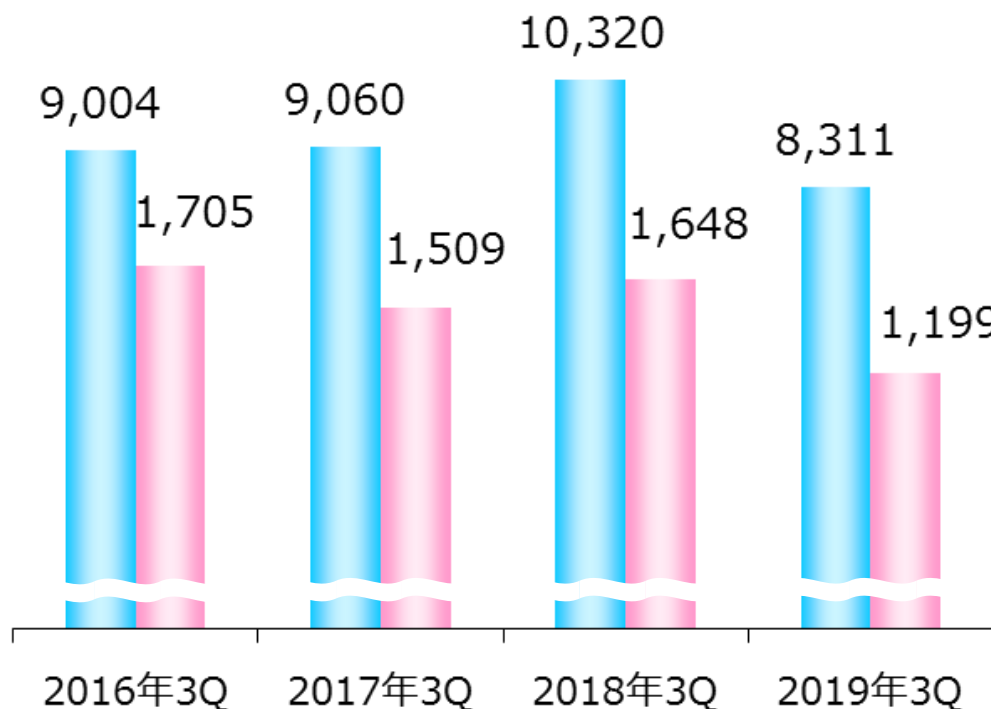
○当期の概要

- 国内／（+）業務用クリーニング薬剤 販売堅調
- 海外／（+）ベトナム・バングラ（香港）市場開拓により好調
（-）広州 市況厳しく減収減益
（-）対アジア通貨円高による減収減益
- 国内外共通／（-）'18-'19暖冬による繊維製品市場在庫過多
→ 繊維加工減の影響受け

化粧品セグメント

○連結業績（百万円）

■売上高 ■セグメント利益



○連結売上高

	18年3Q	19年3Q	増減額	増減率
日本	9,204	7,282	△1,922	△20.9%
海外	1,116	1,029	△87	△7.8%
計	10,320	8,311	△2,009	△19.5%

※為替影響 △70百万円 対USDレート差 ¥0.58の円高
(2018: ¥109.96 2019: ¥109.38)

○当期の概要

- 国内／（+）業界は伸び悩みもヘアケア製品拡販でシェア伸長
新商品堅調に推移
消費税増税前の駆け込み需要
- （-）山田製薬 製造受託事業 大幅減収減益（大口顧客の市場在庫の影響）
- 海外／（-）DEMI KOREA 市場環境の影響を受け大幅減

特別損益の概要（連結）

(百万円)	18年12月期 第3四半期	19年12月期 第3四半期	増減額	増減率
特別利益	3,769	205	△3,564	△94.5%
特別損失	6	25	+18	+302.1%

◇ 特別利益

	百万円
➤ 負ののれん発生益	23
➤ 退職給付制度終了益	135
➤ 補助金収入	33

◇ 特別損失

	百万円
➤ 固定資産除却損	8
➤ 減損損失	15

2019年12月期 第3四半期決算総括

減収減益

売上高（化学品△2.8%、化粧品△19.5%）

- ・山田製薬製造受託事業／大口顧客の市場在庫の影響で大幅減収
- ・中国／米中貿易摩擦による市況減速の影響で既存顧客販売減
- ・'18-'19シーズン暖冬による繊維製品市場在庫過多 → 繊維加工減の影響受け
- ・アジア通貨安・円高により減収
- ・化学品/ベトナム、バングラ好調、化粧品/デミヘアケア拡販もカバーに至らず

営業利益（化学品△26.4%、化粧品△27.2%）

- ・売上高減による利益減
- ・中国環境規制強化の影響による調達コスト増等

目次

2019年12月期 第3四半期 業績

-決算概要

-部門別業績

2019年12月期 業績予想

※2019年12月期第3四半期の期間は、
2019年1月1日～9月30日であります。

※スライドに表示しています金額については、
百万円未満を切り捨てて表示しています。

通期業績予想（連結）

2019年7月31日公表の業績予想に変更はありません

（百万円）	18年12月期	19年12月期	増減額	増減率
売上高	50,188	48,000	△2,188	△4.4%
営業利益	2,301	1,600	△701	△30.5%
経常利益	2,430	1,600	△830	△34.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,458	1,000	△1,458	△59.3%

通期業績予想（連結） セグメント別 2019年7月31日公表の業績予想に変更はありません

(百万円)		18年12月期	19年12月期	増減額	増減率
売上高	化学品	35,502	35,500	△2	△0.0%
	化粧品	13,977	11,500	△2,477	△17.7%
	その他	708	1,000	+292	+41.2%
	合計	50,188	48,000	△2,188	△4.4%
(百万円)		18年12月期	19年12月期	増減額	増減率
セグメント利益	化学品	1,905	1,500	△405	△21.3%
	化粧品	2,285	1,800	△485	△21.2%
	その他	63	100	+37	+58.7%
	消去及び全社	-1,952	-1,800	+152	△7.8%
	合計	2,301	1,600	△701	△30.5%

この資料には、2019年11月5日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

<お問合せ先>

日華化学株式会社 戦略企画本部 IR担当

TEL:(0776)25-8584 (直通) または (0776)24-0213 (会社代表)

FAX:(0776)25-4798

E-mail:matsushima@niccachemical.com